



日本美容皮膚科学会
Japanese Society of Aesthetic Dermatology

第44回 日本美容皮膚科学会総会・学術大会

The 44th Annual Meeting of the Japanese Society of Aesthetic Dermatology

LUNCHEON SEMINAR 1

「なぜ効くか」を再考する

～皮膚を紐解く“内・外から”のルート～

日時: 2026年8月1日(土) 11:20～12:20

会場: ウェスティンホテル仙台 第1会場 2F グランドボールルーム

〒980-0811宮城県仙台市青葉区一番町1丁目9-1

座長



奥村 千香 先生
おくむらクリニック 副院長



小林 直隆 先生
咲くらクリニック 総院長

演者



CO₂マイクロサブシジョン注入器の臨床応用と治療最適化戦略
-当院の経験から-

上條 広章 先生
上野御徒町ファラド皮膚科 院長



脂肪選択的マイクロ波エネルギーを応用した非侵襲的小顔治療
-皮膚科診療における新たな選択肢-

千葉 真美 先生
まみ皮膚科クリニック 院長



TyroCutin Complex配合経口剤とシステアミン配合塗布剤の
併用による色素改善の検討

中野 あおい 先生
あおいクリニック銀座 院長

※本セミナーには未承認品の内容を含みます。



CO₂マイクロサブシジョン注入器の臨床応用と治療最適化戦略

-当院の経験から-

上條 広章 先生

上野御徒町ファラド皮膚科 院長

ポリ乳酸やポリヌクレオチド製剤の登場に伴い、注入デバイスも多様な進化を遂げている。中でも、CO₂ガス注入による剥離、薬剤注入、再度のCO₂ガス注入による薬剤拡散の3つの工程を実現するTrifill PROは、従来の注入療法にはない複合的な作用を有する点で注目される。

CO₂ガスはカルボキシセラピーとして、局所の血流改善や創傷治癒促進作用を有し、コラーゲンおよびエラスチン産生の促進効果が報告されている。さらに、注入薬剤の均一な拡散を促すことで治療効果の安定化に寄与し、特にポリ乳酸製剤において問題となる硬結形成の抑制にも有用と考えられる。当院では、ニキビ跡、しわ、毛穴などの各種皮膚症状に対し、本デバイスを用いた治療を行い、良好な臨床成績を得ている。

本発表では、当院における治療戦略上の位置付けに加え、ニキビ跡治療における適応と有用性、さらに疼痛軽減を目的とした工夫について報告する。



脂肪選択的マイクロ波エネルギーを応用した非侵襲的小顔治療

-皮膚科診療における新たな選択肢-

千葉 真美 先生

まみ皮膚科クリニック 院長

近年、ダウンタイムを抑えた脂肪減少治療として、脂肪溶解注射、脂肪冷却、各種エネルギーデバイスを用いた非侵襲的治療が普及している。これらはボディ、顔面の双方に応用されているが、顔面においては脂肪コンパートメント構造や線維隔壁、支持靭帯との関係が複雑であり、単純な脂肪減少のみならず部位特性を踏まえた治療設計が重要となる。

世界初のマイクロ波を採用した医療機器Onda PROは、高い冷却機構で皮膚を保護しつつ脂肪組織に選択的にエネルギーを伝達する特徴を有する。顔面、特に下顔面では、浅層脂肪への介入により、脂肪量の軽減および輪郭引き締めの方に寄与する可能性がある。また、脂肪量が多い症例においては、たるみ治療単独では効果が限定的となることがあり、脂肪層への介入を先行させることで治療効果の向上が期待される。本発表では下顔面症例を中心に、他治療との併用における臨床的意義やその有用性について報告する。



TyroCutin Complex配合経口剤とシステアミン配合塗布剤の併用による色素改善の検討

中野 あおい 先生

あおいクリニック銀座 院長

TyroCutin Complex配合経口剤は、チロシナーゼ経路に着目して設計された経口複合成分であり、炎症・酸化ストレス・光ダメージに多面的に作用することを目的としている。本検討では、同経口剤単剤、またはシステアミン配合塗布剤およびアイソバイオニックアミドとの併用による内外両面からのアプローチを評価した。

日常診療において12週間の内服を行った患者を画像撮影装置で評価したところ、個人差はあるものの、塗布に加えて同経口剤を1日4カプセル投与した症例では明瞭な改善が認められた。肝斑においても良好な反応がみられ、内外面からの統合的アプローチの有用性が示唆されたため、代表的症例を提示し考察する。

※本セミナーには未承認品の内容を含みます。